

東シナ海ブロック水産業情報

No. 133(2026年4月～6月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	○筑前海 タイラギ種苗生産を実施 ○有明海 有明海漁業振興技術開発事業で、6月にC1～3種苗を合計64万尾放流。 ○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの放流、ガザミの中間育成、放流を実施。	○有明 ●マガキ養殖 令和8年度の生産は、令和8年1月に例年同様、宮城県から種ガキを購入し開始されている。7月上旬に漁業者へ聞き取りを行ったところ、今年度もここ数年確認されている魚類によるカキ稚貝への被害が発生しているとのこと。6月下旬から7月上旬の大雨による斃死は今後聞き取りを行っていく予定。 ○玄海 ・アオナマコ:26.2万個体出荷済み、22万個体飼育中 ・アカナマコ:39万個体飼育中 ・サザエ:幼生300万個体採苗中		【4月】 トラフグでスクーチカ症が発生。 カワハギでレンサ球菌症及びビブリオ病(併発)が発生。 【5月】 ブリでレンサ球菌症が発生。 ヒラメで滑走細菌症及びビブリオ病(併発)が発生。 【6月】 ブリ及びシマアジでレンサ球菌症が発生。 トラフグでヘテロボツリウム症が発生。 ヒラメでネオヘテロボツリウム症及び白点病(併発)が発生。

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県